

# 2022年3月期 通期 決算説明資料

2022年5月16日



証券コード：4461（東証プライム）  
第一工業製薬株式会社

## 連結 業績の概要（前期比較）



増収増益：売上高は過去最高、事業ポートフォリオ見直しによる  
選択と集中を実施した結果、利益改善が進む

（単位：百万円）

	21/3月期	22/3月期	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	59,140	62,672	3,532	6.0%
営業利益	4,485	4,626	141	3.1%
経常利益	4,314	4,192	△ 121	△ 2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,563	2,492	△ 70	△ 2.8%

**増収**  売上高：光硬化樹脂用材料は大きく落ち込むものの、太陽電池用途の導電性ペーストが大幅に伸長

**増益**  営業利益：界面活性剤セグメントを中心とした営業努力による価格是正効果

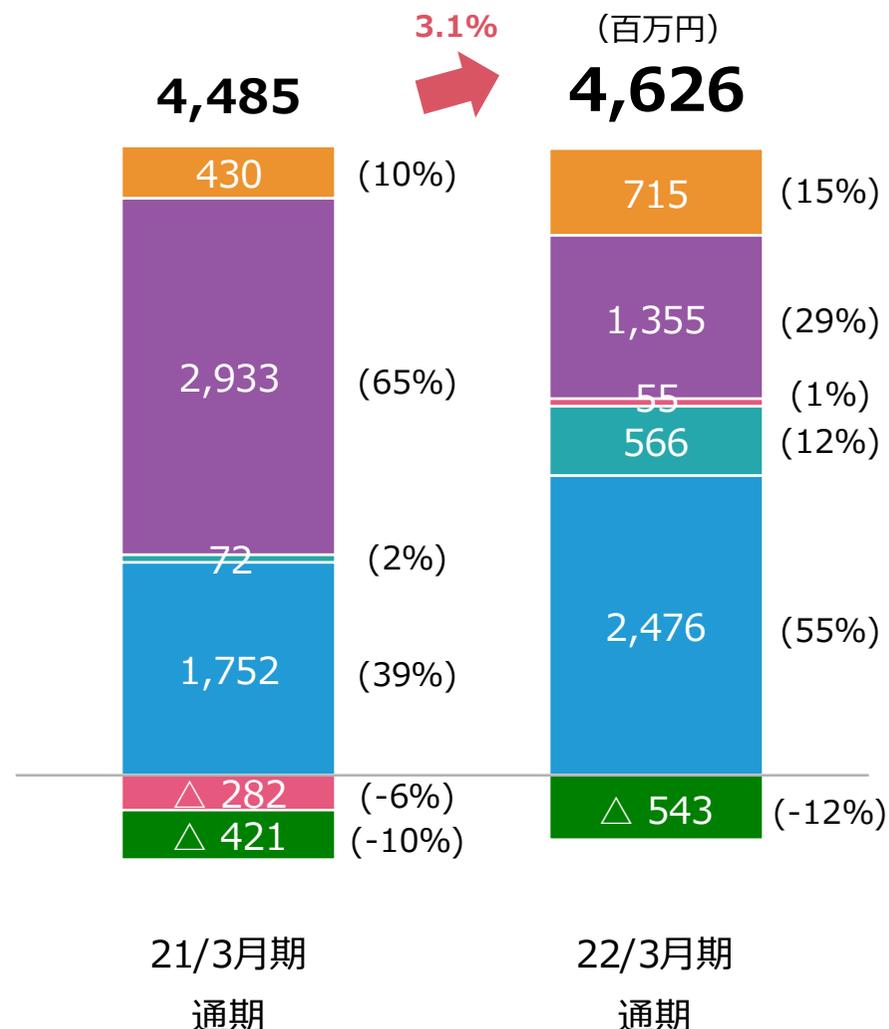
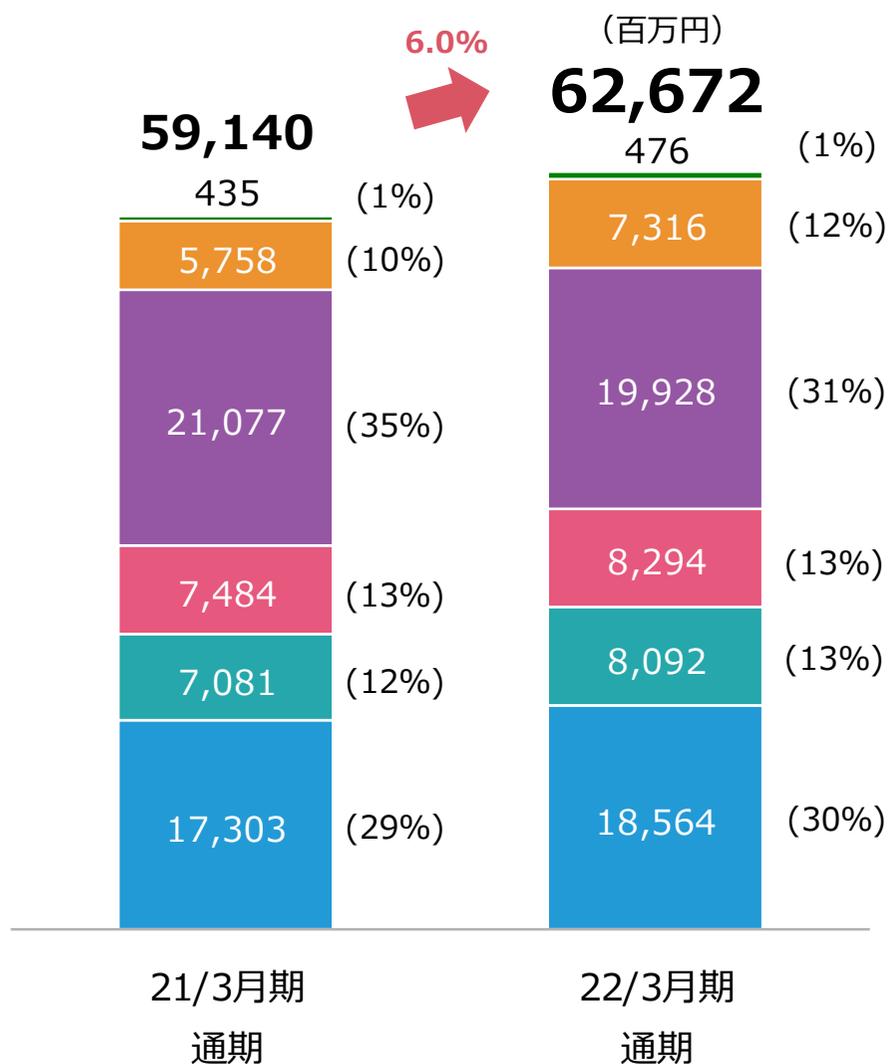
# 連結 セグメント別構成比の推移



## 売上高

## 営業利益

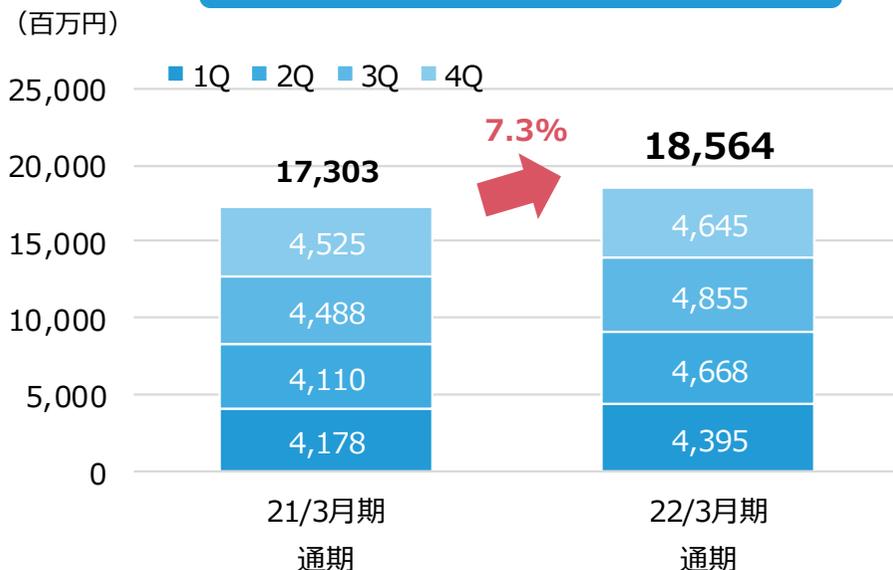
( ) : 構成比



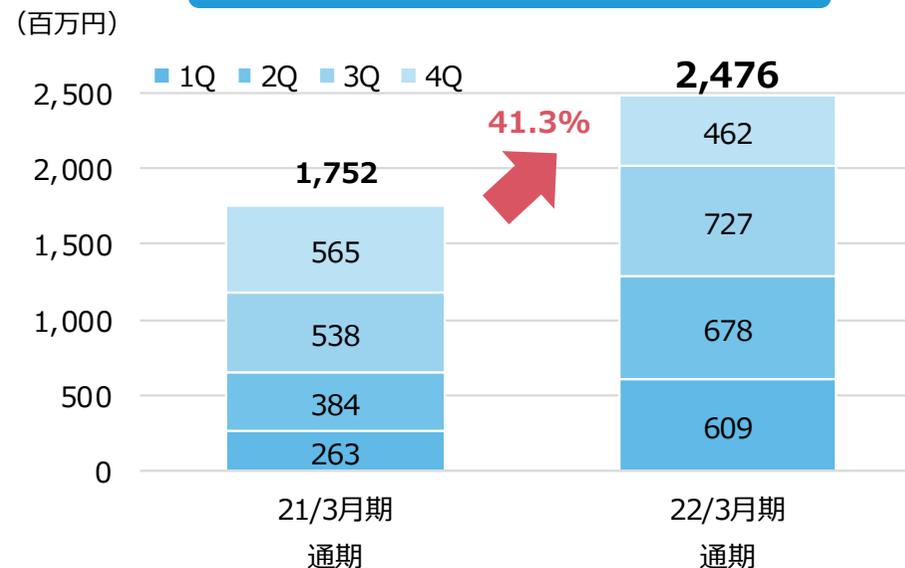
■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

## 売上高



## 営業利益



### 売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途、塗料・色材用途は堅調に推移
- 石けん・洗剤用途は大幅に伸長

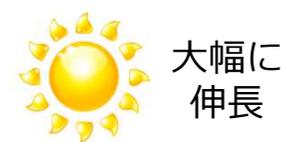
### 営業利益：増益

- 販売価格の是正
- 営業経費の削減

### IT・電子材料用途



### 石けん・洗剤用途



### 塗料・色材

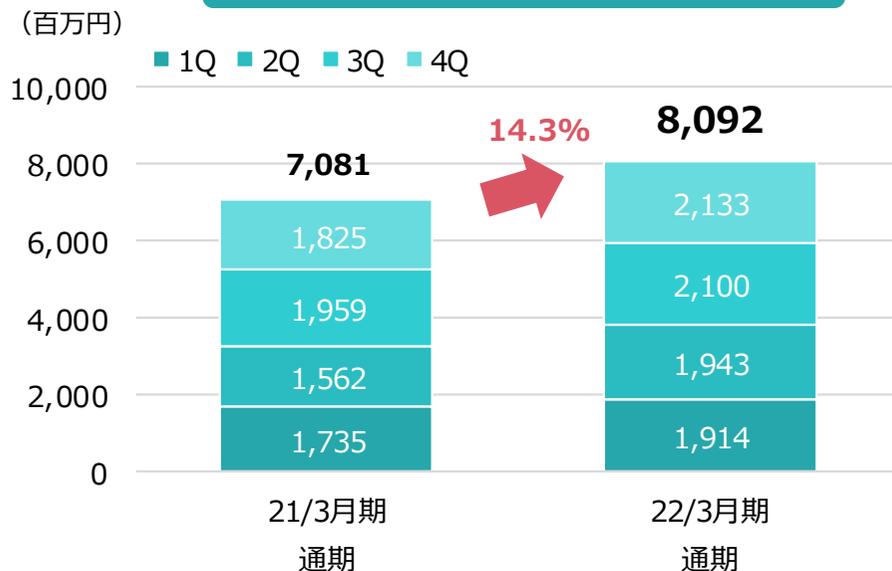


# 連結 セグメント業績 アメニティ材料

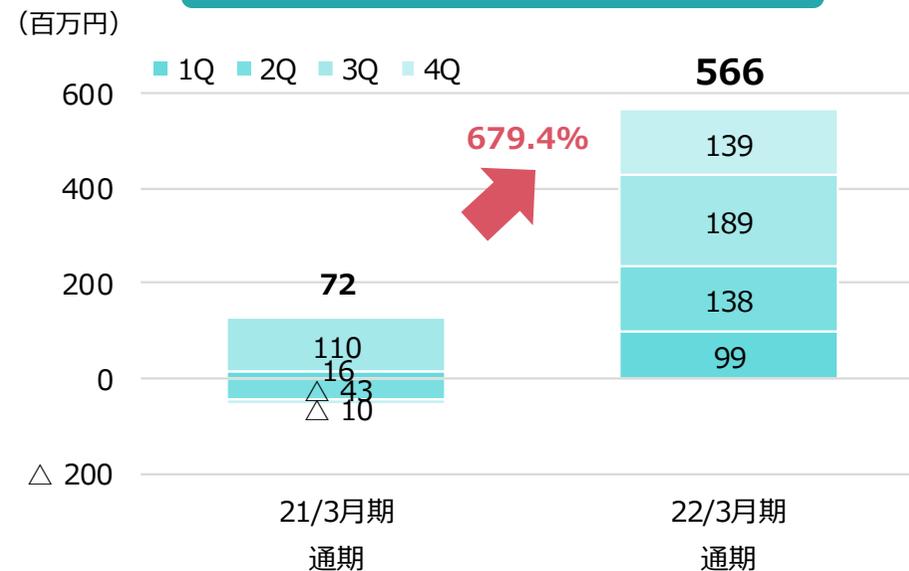


生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。

## 売上高



## 営業利益



### 売上高：総じて大幅に伸長

- ショ糖脂肪酸エステルは化粧品用途は堅調に推移、食品用途は大幅に伸長
- セルロース系高分子材料はエネルギー・環境用途は大幅に伸長

### 営業利益：増益

- エネルギー・環境用途の需要増加による売上高の伸長
- 営業経費の削減

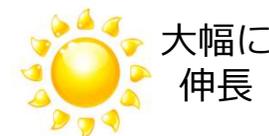
### 化粧品用途



### 食品用途



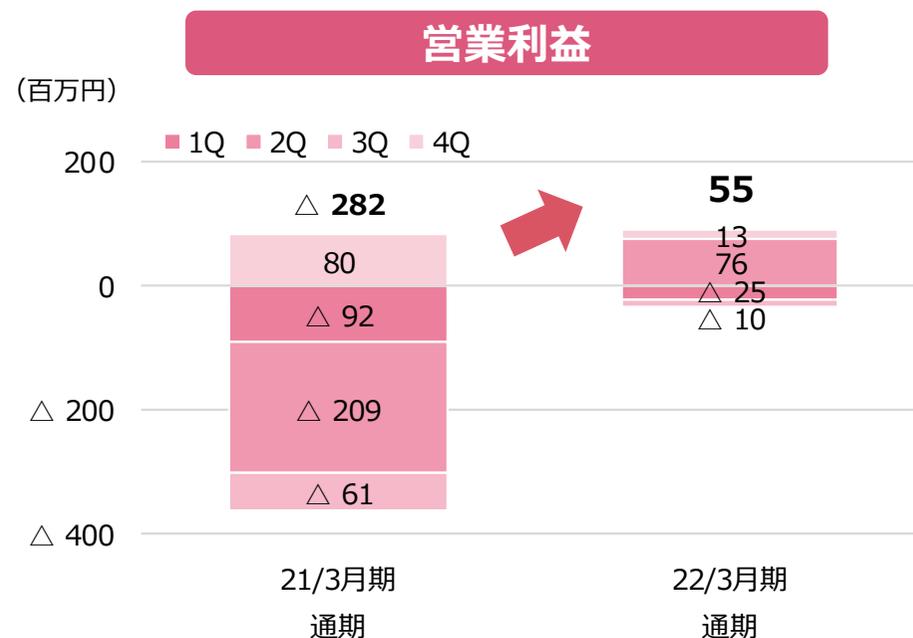
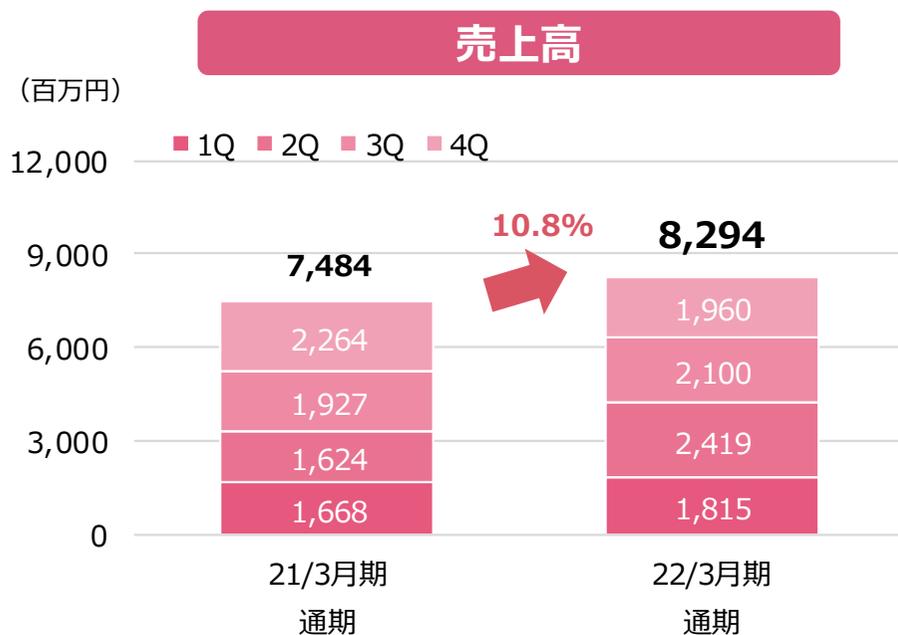
### エネルギー用途



# 連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



## 売上高：総じて大幅に伸長

- 土木用薬剤は堅調に推移
- 合成潤滑油は大幅に伸長
- IT・電子材料用途は堅調に推移

## 営業利益：増益

- 自動車産業分野の需要回復による売上高の大幅な伸長
- 研究開発の効率化による経費圧縮

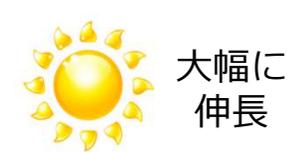
### IT・電子材料用途



### 土木用薬剤:岩盤固結



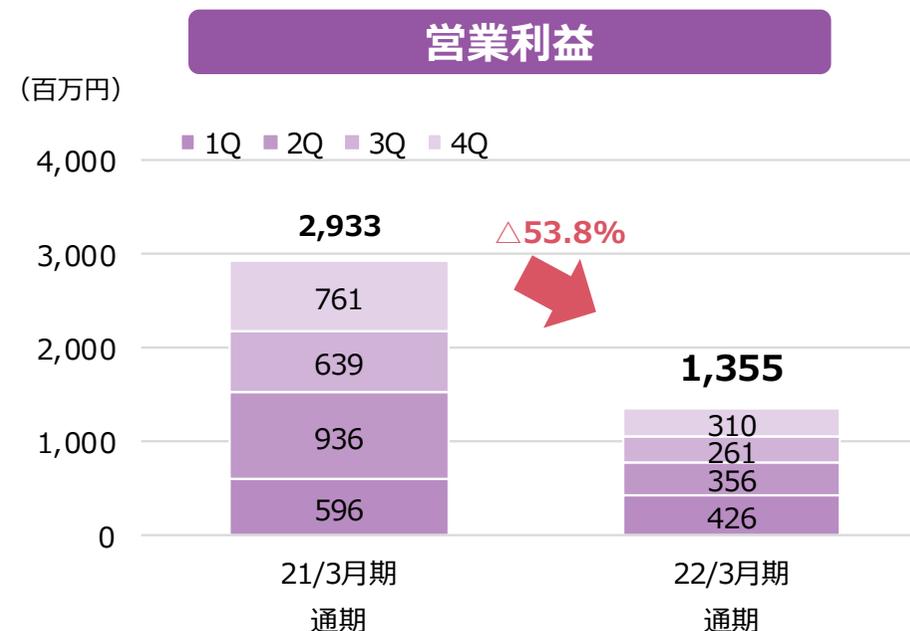
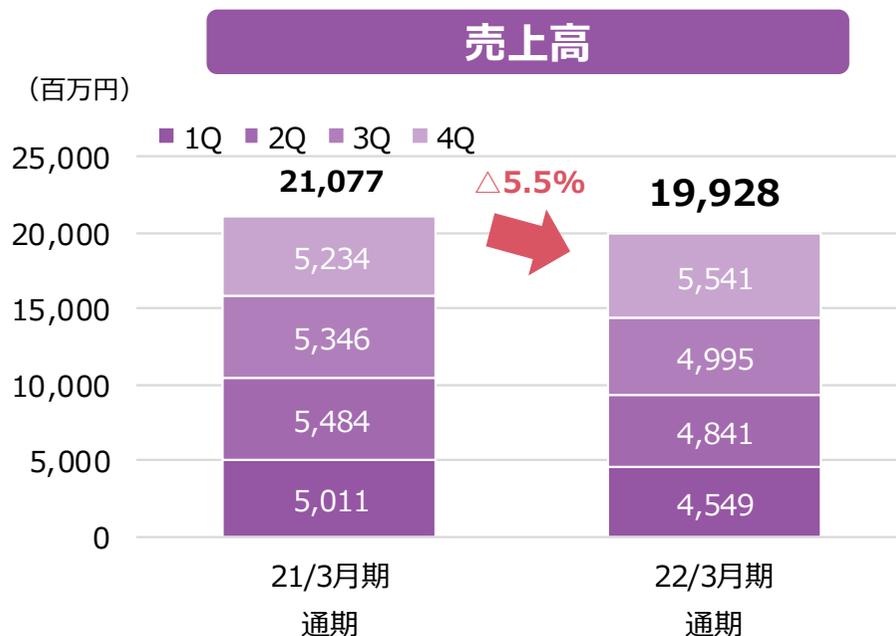
### 合成潤滑油



# 連結 セグメント業績 機能材料



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



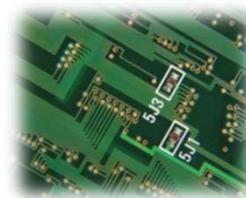
## 売上高：総じて低調に推移

- I T・電子材料用途は大きく落ち込む
- 海外の難燃剤はゴム・プラスチック用途が大幅に伸長

## 営業利益：減益

- I T・電子材料用途の売上高が大きく落ち込む
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

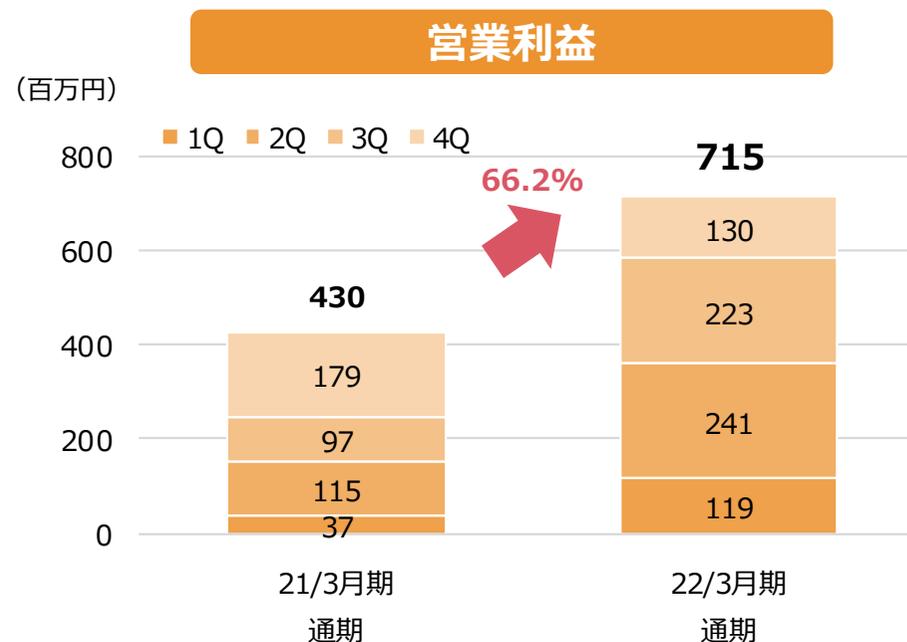
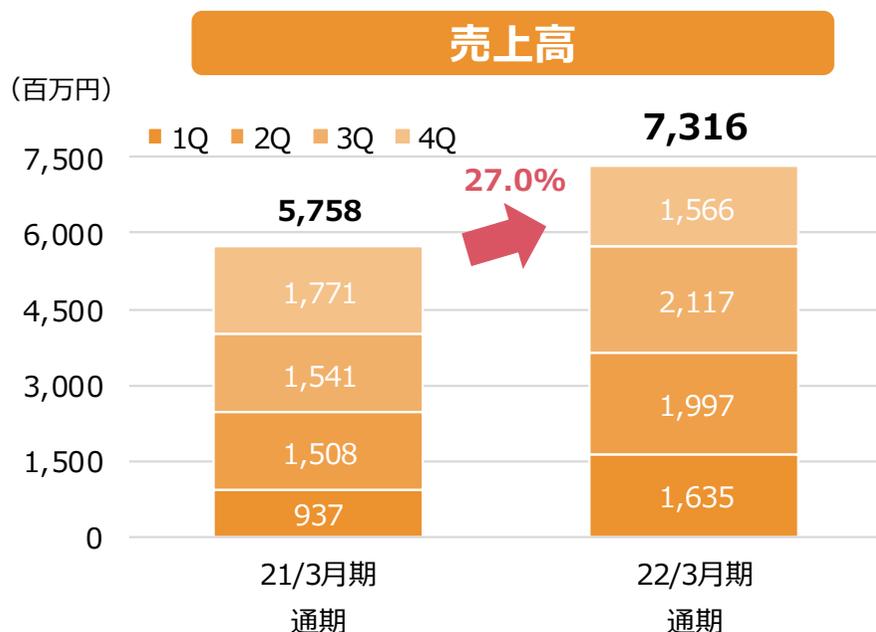
### 電子材料用途



### プラスチック用難燃剤



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



#### 売上高：総じて大幅に伸長

- ディ스플레이用途のイオン液体は低調に推移
- 太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長

#### 営業利益：増益

- 太陽電池用途の需要増加による売上高の大幅な伸長
- 営業経費の削減

#### 太陽電池用途



大幅に伸長



#### ディスプレイ用途



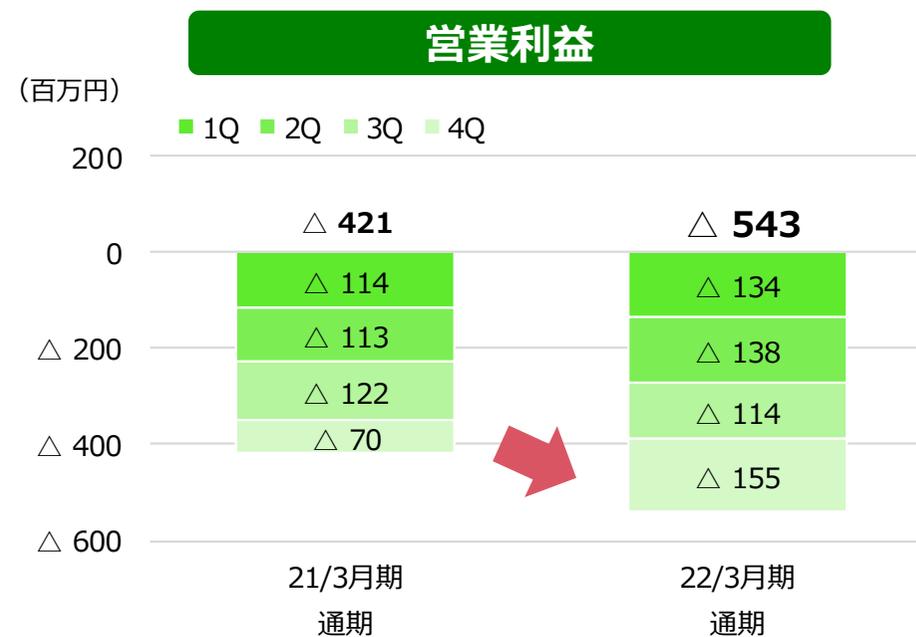
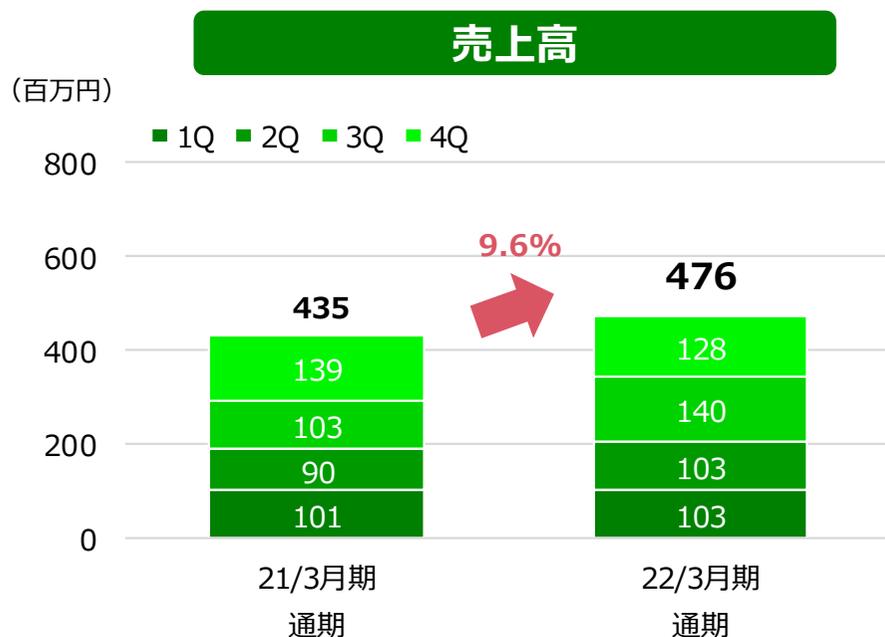
低調に推移



# 連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



## 売上高：前期と比べ41百万円増加

- カイコ冬虫夏草の販売は堅調に推移
- 健康食品等の受託事業は堅調に推移

## 営業利益：営業損失

- 売上高は伸長するも、研究開発費を中心に営業経費が増加

## 冬虫夏草



堅調に推移

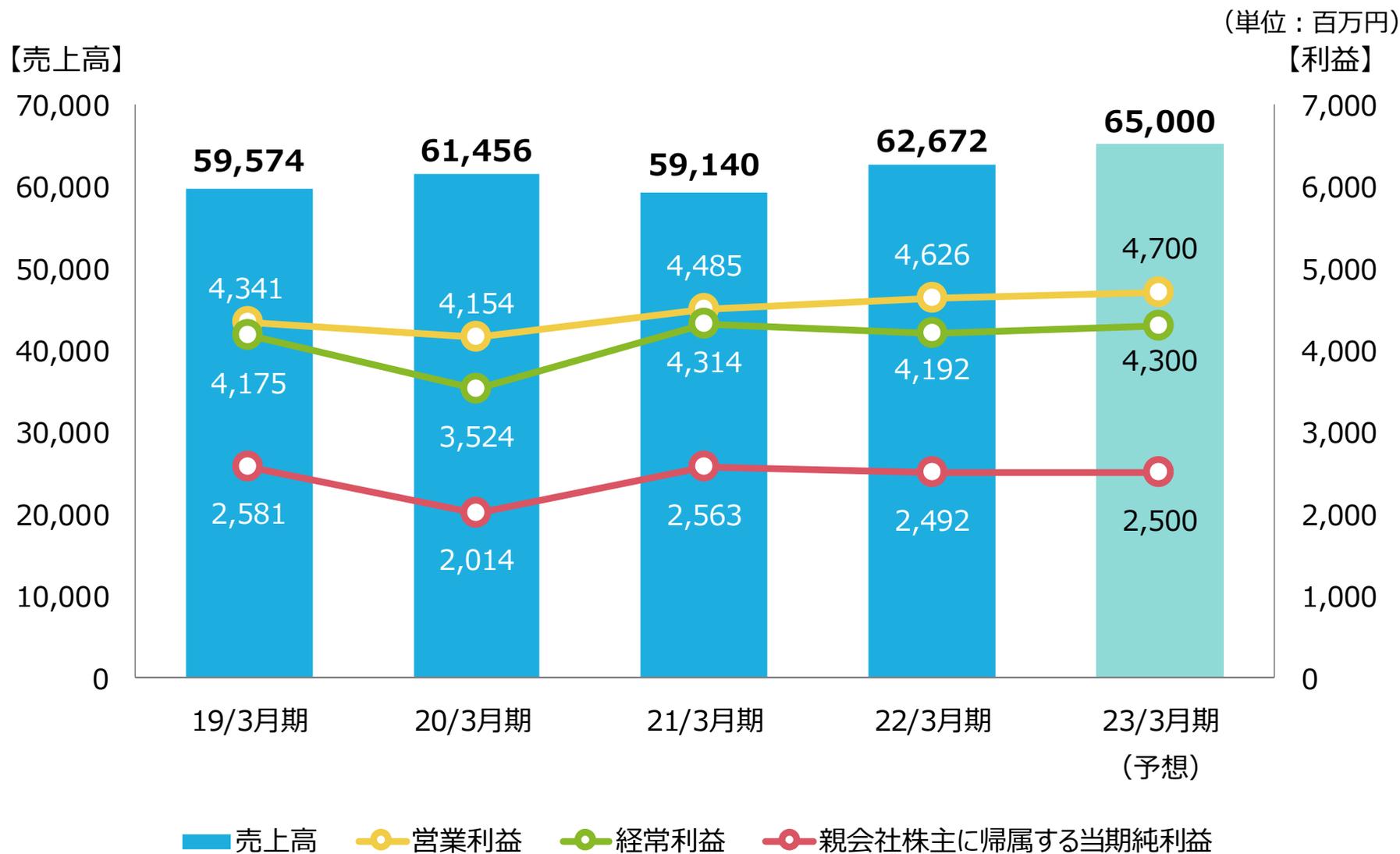


## 健康食品等の受託事業



堅調に推移





(単位：百万円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	増減額		2021年 3月末	2022年 3月末	増減額
流動資産	43,997	46,534	2,536	流動負債	22,071	21,726	△ 345
現預金	11,595	12,224	628	仕入債務	9,827	10,634	806
売上債権	16,866	16,492	△ 374	有利子負債	7,296	7,269	△ 26
たな卸資産	13,248	15,508	2,260	その他	4,947	3,822	△ 1,124
その他	2,287	2,308	21	固定負債	25,556	24,359	△ 1,197
固定資産	41,035	39,935	△ 1,100	有利子負債	24,809	23,603	△ 1,206
有形固定資産	34,317	33,358	△ 959	その他	747	755	8
無形固定資産	833	618	△ 214	負債合計	47,628	46,086	△ 1,542
投資・その他の資産	5,884	5,958	73	純資産	37,404	40,383	2,979
資産合計	85,033	86,469	1,436	負債・純資産合計	85,033	86,469	1,436

# 連結 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



(単位：百万円)

	21/3月期 通期	22/3月期 通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,955	5,520	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,804	△ 2,700	1,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	255	△ 2,336	△ 2,591
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	135	136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	1,405	619	△ 785
現金及び現金同等物の期末残高	11,531	12,151	619

## 「経済産業大臣賞（事業革新部門）」最優秀賞を受賞



2021年12月、第5回100年企業顕彰※  
（主催:100年経営の会）で、最優秀賞と  
なる「経済産業大臣賞(事業改革部門)」  
を受賞しました。

「伝統と革新」という企業の使命を意  
識しながら行動してまいります。

贈賞式会場にて（写真提供：日刊工業新聞社）  
（左）角野経済産業省中小企業庁長官、（右）坂本会長

※100年企業顕彰は、日本に数多い創業100年を超える長寿企業の経営理念に注目し、地域の他企業の範となる優れた企業を顕彰し、地域の雇用・税収などに貢献する優良企業を表彰することを目的として開催されています。

## TCFD提言への賛同を表明、コンソーシアムに参加

2022年3月、当社はTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に賛同表明しました。また、4月より賛同企業や金融機関が論議する場であるTCFDコンソーシアムに参画しました。

TCFDの提言に沿ってシナリオ分析し、気候変動が事業活動に与える影響等について、5月中の情報開示を進めます。

持続可能な社会の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。



TASK FORCE ON  
CLIMATE-RELATED  
FINANCIAL  
DISCLOSURES



TCFD  
Consortium

## カイコハナサナギタケ冬虫夏草の新ブランド「天虫花草」を新発売



パークハイアット京都にて：坂本会長

2022年3月24日、京都市内のホテルでライフサイエンス事業に関する取り組みと新ブランド「天虫花草」の発表会を行いました。当社webの通販サイトを立ち上げ、早期実績化を図ります。



商品説明会の模様



「天虫花草」の展示物



新商品「天虫花草」



<https://tenchukasou.jp/>

## 経済産業省が定める「DX認定事業者」に選定

当社は、2022年4月1日に独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が審査、経済産業省が認定する「DX認定事業者」に選定されました。



# DX認定

### ➤ 当社の取り組み

当社は中期経営計画実現のための重点施策達成に向け、デジタル技術を活用しています。DXによる製造設備の予防保全、DX研修や研究本部にMI推進部を設置するなど、経営基盤にDXを取り入れていることが評価されました。

# 業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp